



【さんぺい武後援会ニュース】

未来へとどけ！
エコシティ
ひたちなか

発行 NO.67
発行月：2025年4月
発行者：さんぺい武後援会
住所：ひたちなか市市毛1077
電話：029-273-6826

3月定例議会

令和7年第1回ひたちなか市議会3月定例議会が、3月3日から26日間にわたり開催されました。本定例議会では、4件の報告案件の説明と令和6年度一般会計補正予算、令和7年度予算、また条例の一部改正、人事など全48件の議案を審議し、全議案を原案の通り可決成立しました。

今回は、令和7年度一般会計の予算概要と主な事業内容、また、3月12日に日新クラブ会派を代表して質問を行った内容の抜粋を報告します。



代表質問に登壇

令和7年度ひたちなか市予算の概要

【令和7年度予算総額】

一般会計	628億4,900万円 (対前年度比 +21億3,600万円/3.5%増)
特別会計	495億375万円 (対前年度比 +14億818万円/2.9%増)
合計	1,123億5,275万円 (対前年度比 +35億4,418万円/3.3%増)



一般会計について、歳入の根幹を成す市税は、個人市民税及び法人市民税について、雇用と所得環境の改善や景気の緩やかな回復から増収となる見込みです。しかし、令和7年度も社会保障関連経費や物価高騰などは続いており、基金からの繰入金により財源を確保しました。歳出では、雨水幹線整備や河川改修などに引き続き取り組むほか、勝田駅東西自由通路修繕工事、旧平磯小学校の校舎改修を進めます。また、第4次総合計画や新中央図書館建設を予定する中心市街地エリアのまちづくり計画など、本市の将来につながる各種計画の策定と地域子育て支援の新たな拠点とする施設整備に着手するなど、本市の更なる成長のため、一般会計は過去最大となる628億4,900万円の予算になりました。

令和7年度の主な事業内容と予算：抜粋

1. 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり

■【継続】災害時重要給水施設配水管更新事業 414,477千円

中心市街地やその周辺地域においては、市役所やひたちなか総合病院、災害時に指定避難所となる学校や行政施設などが点在します。これらの災害時に重要拠点となる施設に給水する配水管について、災害に強い強靱な耐震管に更新します。



水道施設(管路)更新工事

2. 生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくり

■【新規】带状疱疹ワクチン接種事業 27,147千円

令和7年度より定期接種B類に位置付けられる高齢者を対象にした带状疱疹ワクチンに関し、医師会と連携しながら円滑な接種体制の整備を進めるとともに、積極的な情報発信を行うことで、高齢者の重症化予防に努めます。

3. 子育て世代に選ばれるまちづくり

■【継続】病児保育施設整備支援事業 9,905千円

令和7年4月に、勝田地区初の民間病児保育施設が開設されることから、引き続き設置法人と連携し、本市の病児保育環境の更なる充実に努めます。

4. 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

■【継続】ほしいも振興事業 6,526千円

良質な原料芋の生産や衛生的な加工施設の整備に対する支援を引き続き行うとともに、ほしいもの新たなアレンジメニューの開発やプロモーション活動を通じて、その魅力を高め、「ひたちなか市産ほしいも」の更なる認知度向上とブランド化に取り組めます。



ほしいも品評会開催

5. 快適で機能的な住みよいまちづくり

■【継続】新中央図書館整備事業 147,757千円

幅広い世代の方に活用していただける魅力的な図書館の建設に向けて、これまでに市民の皆様からいただいたご意見等も踏まえながら、引き続き整備業務に取り組めます。

6. 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

■【新規】窓口デジタル化推進事業 14,643千円

待ち時間を短縮するためのWeb予約機能などを備えた窓口番号案内表示システムを市民ホールに導入し、市民の利便性向上を図ります。また、証明書等の発行に係る電子申請サービスにおいて、手数料をオンラインで決済できる機能を追加するなど、行政手続きの更なるオンライン化を推進します。

令和7年度3月定例会 代表質問：日新クラブ

主な質問項目

- 1. 総合計画について
 - 2. 市誕生 30 周年記念事業について
 - 3. 令和7年度予算編成について
 - 4. 令和7年度の市政への取組について
 - 4-1 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくりについて
 - ① 水道施設について
 - ② 下水道施設について
 - ③ 原子力災害に備えた広域避難計画について
 - 4-2 生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくりについて
 - ① 高齢者福祉について
 - ② 障害福祉について
 - ③ 疾病予防の取組について
 - 4-3 子育て世代に選ばれるまちづくりについて
 - ① 保育環境の充実について
 - ② 児童生徒のキャリア形成について
 - ③ ICT教育の推進について
 - 4-4 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくりについて
 - ① 企業誘致について
 - ② eスポーツを活用した取組について
 - ③ ふるさと納税について
 - 4-5 快適で機能的な住みよいまちづくりについて
 - ① 中心市街地におけるまちづくりについて
 - ② 新中央図書館について
 - ③ 公共交通について
 - 4-6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくりについて
 - ① 自治会について
 - ② 公共施設マネジメントについて
 - ③ 窓口業務におけるデジタル化の推進について
- 【その他 11 項目、合計 32 項目について質問しました】



傍聴いただいた皆さん、ありがとうございました。

質問 昨年11月、誕生30周年の節目を迎え、一年を通じた記念事業は、82事業まで拡大し、盛大に開催された。30周年記念事業の総括と今後のシビックプライドの醸成の取り組みについて伺う。

答弁 今後、事業全体の総括を実施する予定だが、いくつかの事業は継続していく。昨年から試験的に放送を開始した時報メロディーを継続し、勝田駅周辺で実施したプロジェクション・マッピングなどは、一部企画内容を練り直して続ける予定である。記念事業を通じて深まった市民や団体とのつながりを活用して協働のまちづくりを推進し、未来への飛躍につなげていく。

質問 社会保障関連経費や公債費などのほか、原材料や資材価格の高騰、人件費の上昇などから、厳しい財政状況の中、令和7年度の予算が編成された。予算編成の特徴点と苦慮された点について伺う。

答弁 来年度は、第3次総合計画を完遂し、今後の発展に必要な事業を推進するため、予算規模は過去最大となった。引き続き、経済情勢の変化や国・県の動向を見極めながら、必要な施策に取り組んでいく。また、財源確保のため、事業内容の見直しや年次計画を変更し、国の補助を最大限活用できるよう努め、事業の選択と集中による効率的かつ効果的な予算編成を行った。

質問 現在、带状疱疹ワクチンは、任意接種のため、全額自己負担となっているが、令和7年度より定期接種B類に位置付けられ、公費補助を受けられることになった。対象者など、具体的な内容を伺う。

答弁 対象者は、令和7年度に65歳を迎える方をはじめ、5年間の経過措置として、70歳から100歳までの5歳刻みの節目年齢を迎える方、さらに令和7年度に限り、101歳以上の全ての方となる。対象者には3月末に予診票を発送する予定で、接種費用の3割程度を市が公費負担する。市医師会と連携し、ワクチンの有効性など分かりやすい情報発信に努めていく。

ハーフタイム

【代表質問を終えて】

毎年、3月定例会では市長が示す、新年度の施政方針に対し、会派を代表して質問が実施されます。今回は、私が日新クラブ会派を代表し質問を行いました。「第3次総合計画後期基本計画」の最終年度の取組みや令和7年度の予算編成の特徴点、また6つの施策の柱から、それぞれの主要な項目を取り上げ、現状と課題や新年度の取組みの内容などを市長および執行部に質問しました。代表質問は市政全般を対象に行うため、広く浅くという内容になってしまいますが、新年度に新たに実施される各事業の内容とスケジュール、既存事業の評価や課題、今後の取組みに対し、意見要望を含めて質問しました。今後は、今回の代表質問の内容を一つの軸に、令和7年度の執行状況を注視していきたいと考えています。引き続き、皆様のご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。